

授業科目

教育方法・技術

担当教員名 足立 淳	対象学年	2	対象学科	健康・スポ・看護
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	○	○	○

授業の概要

教員免許を有する者にとって、学校教育において授業を適切に実施できることは必須の技能である。この授業は、教育方法学や教育工学の知見に根ざした、授業を適切に実施していくための基本的な理論や方法・技術について講義するとともに、その講義内容を踏まえた協同的で主体的な学習を通して初歩的な授業実践力の形成を図るものである。

授業の目的

この授業の目的は、受講者が将来教職に就いた際に、社会や時代からの学校教育に対する要請を自らの教養に照らして主体的に判断しながら、児童・生徒の福祉やQOLの向上を念頭に置いて授業を設計し、開発し、実施し、評価し、改善していくことのできる基礎的な教育学的教養を習得させることにある。

学習目標

上記の目的を達成するために、この授業では、以下の学習目標を設定する。

- 1 授業を行なううえで、教師が日常的に踏んでいる授業設計の段階や手順を説明することができる
- 2 授業の事例に即して、明確な教育目標を設定することができる
- 3 授業の事例に即して、学習成果を適切に分類することができる
- 4 授業の事例に即して、教材研究の中核となる課題分析を行なうことができる
- 5 教材開発の考え方に即して、適切な教材を提案できる
- 6 学習指導案の構成要件を説明できる
- 7 授業の事例に即して、適切な授業展開を提案できる
- 8 授業の事例に即して、適切な協同学習の方法を提案できる
- 9 情報機器の適切な授業への応用方法について説明できる
- 10 授業の事例に即して、簡易的なルーブリックを作成することができる
- 11 学習者のやる気を引き出すような授業者としての適切な話し方や振る舞いができる
- 12 簡易的な学習指導案を作成できる
- 13 授業記録に基づいた授業評価を実践し、授業の改善策を提案できる
- 14 社会情勢の変化を踏まえて、現代に求められる教職の専門性とは何か、説明できる
- 15 適切な教育方法・技術を構想するために、他者と協同して積極的に課題に取り組むことができる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	教育方法・技術の概要	ガイダンス	足立 淳
2	授業設計の考え方	講義・協同学習	足立 淳
3	教育目標の設定	講義・協同学習	足立 淳
4	様々な学力観	講義・協同学習	足立 淳
5	教材研究と課題分析	講義・協同学習	足立 淳
6	教材開発の手法	講義・協同学習	足立 淳
7	学習指導案とは何か	講義・協同学習	足立 淳
8	授業展開と指導方略	講義・協同学習	足立 淳
9	様々な学習形態	講義・協同学習	足立 淳
10	情報機器と教材の活用	講義・協同学習	足立 淳
11	評価法と評価指標	講義・協同学習	足立 淳
12	「良い授業」の条件とは	講義・協同学習	足立 淳
13	学習指導案の作成	講義・協同学習	足立 淳
14	授業記録と授業評価	講義・協同学習	足立 淳
15	求められる教師像の転換	講義	足立 淳

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

課題への取組 50%程度

期末試験成績 50%程度

※ただし、出席率が3分の2に満たない受講者は期末試験の受験資格を失う

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

adachi@nuhw.ac.jp